民医連

代々木歯科コーナー 連載

「歯が生える薬」研究、ついに治験へ
―新しい歯科医療の可能性―

＝その147＝ 歯科医師 山内真人

歯が生える薬は、京都大学の研究グループが開発を進めている「新しい歯を生やすことを目指す治療薬」です。生まれつき永久歯が足りない「先天性無歯症（むししょう）」の方への治験が始まりました。

先天性無歯症とは、永久歯のもとになる〝歯胚（しはい）〟がうまく育たず、歯が生えてこない病気です。

歯が生える薬の研究は、歯が多く生えてくる「過剰歯マウス」の発見がきっかけでした。ある遺伝子が欠けたマウスでは、通常より多くの歯が生えることが分かり、その遺伝子が作る物質が「USAG-1」というタンパク質であることが明らかになりました。このUSAG-1は、歯の成長を妨げる働きを持っています。

そこで研究グループは、USAG-1の働きを弱める薬を作り、歯が少ないマウスに投与したところ、新しい歯が生えてくることが確認されました。さらにフェレットでも同じ結果が得られ、現在は人への臨床応用が進められています。

歯が生える薬は、体内で歯の芽が育ちやすい環境を整えることで、失われた歯を再び生やすことを目指しています。将来的には、生まれつき歯が足りない方だけでなく、虫歯や歯周病などで歯を失った場合にも応用できる可能性があり、歯科医療の新しい希望として期待されています。

引用：トレジェムバイオファーマ
https://toregem.co.jp/

熊本地震救援募金の取り組み

熊本地震の救援募金活動

7月28日に発生した熊本地震の救援募金活動として、8月6日、18日、25日に千駄ケ谷駅前で震災支援の募金を呼びかけました。3日間で計32800円の募金が寄せれました。

また職員向けに8月21日に被災支援の食堂を開き、栄養課がコロッケカレーを販売しました。

寄せられた募金は、熊本民医連より各自治体を通じて被災された方へお届けします。

憲法９条改悪に反対する請願署名にご協力ください

高市内閣は、2026年2月の衆議院総選挙で得た「数の力」にたのんで、前のめりに戦争の準備に突きすすんでいます。防衛費はGDP比約2％とこれまでの2倍になり、そのための増税も進んでいます。沖縄や南西諸島をはじめとして日本全国の自衛隊基地で、ミサイルの配備などの増強が行われています。周辺国との緊張をあおり、戦争の危険を高めるものとして、基地のある地域や周辺国から心配の声があがっています。

私たちは、戦争につながる憲法9条への自衛隊明記、そして政府に権力を集中させて、人権保障と権力分立を停止させる緊急事態条項の導入に反対して、以下の項目を要求します。

1．戦争準備の憲法9条改悪と、緊急事態条項を導入する改憲をやめること

2．衆参の憲法審査会に改憲案の起草委員会を設置しないこと

署名のご協力をお願いします。

内閣総理大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様

2026年 月 日

私たちは戦争につながる憲法改悪に反対します
― 憲法９条改悪に反対する請願署名 ―

世界のあちこちで戦争・紛争が続き、終わりが見えない中、日本でもさらなる火種がまき散らされています。
高市内閣は、2026年2月の衆議院総選挙で得た「数の力」にたのんで、前のめりに戦争の準備に突きすすんでいます。防衛費はGDP比約2％とこれまでの2倍になり、そのための増税も進んでいます。沖縄や南西諸島をはじめとして日本全国の自衛隊基地で、ミサイルの配備などの増強が行われています。
これは、周辺国との緊張をあおり、戦争の危険をむしろ高めるものとして、基地のある地域や周辺国から心配の声があがっています。
日本も明治以降、戦争ばかりしてきました。第二次世界大戦でアジアの人びとを2000万人以上殺し、日本人を約310万人死なせました。更なる軍備増強は、周辺国に日本の再軍備化への警戒心を植え付けて緊張を高めるだけです。
私たちは、過去の戦争の反省の上に、戦争を放棄して軍隊を持たないと決めた憲法9条が、今こそ大切だと考えます。
「唯一の戦争被爆国」である日本は、すべての戦争がなくなるように世界に対して率先して働きかけるべきです。
そのためには憲法9条を堅持して、戦争をなくすための努力をするべきです。しかしいま、政府からは核武装を唱える声が聞こえ、国会では、憲法を変えるための条文起草委員会を憲法審査会に設置する動きが始まっています。
私たちは、戦争につながる憲法9条への自衛隊明記、そして政府に権力を集中させて、人権保障と権力分立を停止させる緊急事態条項の導入に反対して、以下の項目を要求します。

請願事項
1．戦争準備の憲法9条改悪と、緊急事態条項を導入する改憲をやめること
2．衆参の憲法審査会に改憲案の起草委員会を設置しないこと

氏　名	住　所
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県

※いただいた署名は同意者への連絡・要請以外には用いません。

呼びかけ団体
安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合
改憲問題対策法律家６団体連絡会
９条改憲ＮＯ！全国市民アクション
九条の会
憲法９条を壊すな！実行委員会
戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター

連絡先
【九条の会】
TEL：03-3221-5075　メール：mail@9jounokai.jp
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7 神田中央ビル303
【憲法９条を壊すな！実行委員会】
TEL：03-3221-4668　メール：kenpo@galaxy.ocn.ne.jp
〒101-0061東京都千代田区神田三崎町3-3-3太陽ビル402 市民ネット内
【戦争をする国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター】
TEL：03-5842-5611　メール：move@zensoren.gr.jp
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4全労連会館4F

＜取り扱い団体＞

沖縄知事選

建設容認に注視必要
３選目指したが残念の結果

9月13日に行なわれた沖縄県知事選挙では、3選を目指した玉城デニー氏は約27万票を獲得しましたが残念ながら及ばず、高市政権が全面的に支援し、自民党など6党が推薦した古謝玄太氏が当選、12年ぶりの自民県政となりました。

選挙後の会見で、名護市辺野古の米軍新基地建設をめぐり、デニー氏は「オール沖縄の『建白書』の実現という理念はぶれていない」「新基地に反対する民意は明確に出されている」と話しました。

当選した古謝氏は、「工事を進めて（辺野古に）移設することがもっとも早い対応策ということで容認している。しっかり進めていく」と述べ、「辺野古容認」県政への転換を宣言しています。

沖縄県民の総意である米軍普天間基地の早期返還の実現と、辺野古新基地建設で矛盾がある計画を進めている国に対して、どのように進めていくのか今後も注視が必要です。

サプリメントに頼らない生活

（135）

薬剤師 藤竿伊知郎（元外苑企画商事）

災害時に必要な備蓄水

地震や台風などの災害によりライフラインが止まったとき、まず確保したいのは「水」です。防災マニュアルでは「1人1日あたり3リットル（L）」を3日分備蓄するよう勧めています。公的支援が届くまでの水です。それだけで、足りるのでしょうか。

人が生きていくために最低限必要な水分は、安静な状態で1日2・5L。尿や便として1・6L、呼吸や汗として0・9Lが体から失われるため、その分を飲食で補わなければなりません。尿の量が1日0・5Lを下回るぐらい水分が不足すると、血液の流れが悪くなり、体に深刻な影響が出ます。

3Lという数値のもとになっているのは、人道支援の国際基準「スフィア・ハンドブック」です。そこで示された、生きるために必要な飲用・食料分の水分量は1日2・5～3L。3Lのうち2割は、食事からとる想定です。生活水需要としては、衛生管理を含め7・5L以上必要としています。

暑さや発熱、下痢などで水分を多く失うことがあります。高齢者や妊婦、子どもなどには、十分な量を確保しましょう。

また、手洗いや食後の口をすすぐなど感染予防に使う水も大切です。備蓄から時間がたった水も衛生用として使えます。

水分を我慢してトイレに行かないと、脱水につながります。飲み水の備蓄とあわせて、災害時にも安心して使えるトイレも用意しておきましょう。

９条守れ！ 全国統一行動 in千駄ケ谷駅

９月９日の請願署名・全国一斉行動

全日本民医連も加盟する「憲法共同センター」では「憲法９条改悪に反対する」請願署名を広げようと９月９日を中心に全国一斉行動が提起され、この呼びかけに応じて９日昼休みに千駄ケ谷駅前で、病院と友の会から計４人の参加で実施しました。30分間の行動でしたが幅広い世代から署名10筆が寄せられ、関心の高さがうかがえました。